

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商工業育成・助成事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	金子	孝行		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	商工業団体	意図	商工業の発展に貢献する。
事業内容	市内商工業の振興及び地域経済の活性化のため、街路灯等の電気料金に対し補助金を交付する。また、平成24年度は、流山共通ポイントカードの事業運営に対し補助金を交付し、事業運営のための借入金に対する利息の2分の1を補給する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和61年度以来、商業共同施設を経費の一部に対して、補助金を交付している。平成20年度からは電気料金の5割に相当する額を助成していたが、原油等価格高騰により3か年に限り全額を交付することとした。平成23年度からは改正前の5割に戻して補助するものである。平成24年度は流山共通ポイントカード事業に対し、運営を軌道に乗せるための補助金と平成24年度から5年間の借入金に対する利子の一部を補給している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	街路灯等の電気料金	2,114	2,150	2,253	千円
②	発行ポイント数	4,380,000	3,940,000	3,735,000	ポイント	↓↓↓	実績から
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成26年度は、電気料が若干値上げとなった。商店会街路灯のLED化を図っているものの電気料金の補助金は昨年度より増額している。また、ポイントカード事業については、加盟店が少ないことが課題であるため、加盟店の増強やキャンペーンによる発行ポイントの増大など、魅力の向上に努めている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総計(a=b+c)		8,474,637	3,710,632	4,008,638			
事業費(b)(円)		7,685,057	2,942,062	3,248,619			
うち一般財源		7,685,057	2,942,062	3,248,619			
職員給与費(c)(円)		789,580	768,570	760,019			
人役・職員(人)		0.11	0.11	0.11			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）					ポイントカードの普及拡大については、産業振興審議会の答申を受け、流山商業協同組合の経営改革プラン及び事業計画の抜本的見直しを見極めたうえで、更なる財政支援を検討することとした。		
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	市内商店会のLED化は、商店会数の67%が改修したが、さらに加速させたい。ポイントカードについては補助金等による支援を行うことにより、運営を軌道に乗せる。	③取り組みの課題	街路灯のLED化未実施の商店会に対するLED化の促進。ポイントカードについては、加盟店の数を増やすことである。
②今年度(H26)に実施した取り組み	街路灯のLED化をしていない商店会に対し補助を活用した改修を促している。ポイントカードについては、キャンペーンやポイント倍出セールを行いカード利用の促進を図った。	④今後の改善計画	引き続き、街路灯のLED化を促進する。カード事業については、加盟店の増強と発行ポイントの拡大に努める。